

大原社会問題研究所(正面)  
(法政大学大原社会問題研究所提供)

大原社会問題研究所設立 100 周年記念

# 大原社会問題研究所と 「大原文庫」の百年

展示期間：平成 31 年(2019 年)1 月 16 日(水曜日)～2 月 11 日(月曜日・祝日)

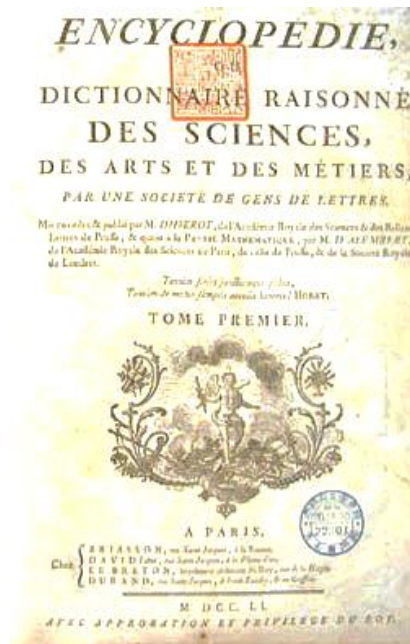
火曜日から金曜日：午前 9 時～午後 7 時

土曜日・日曜日・祝日：午前 9 時～午後 5 時

月曜休館（ただし 2 月 11 日は開館）

展示場所：大阪府立中央図書館 展示コーナーA

主催：大阪府立中央図書館 協力：法政大学大原社会問題研究所



“L’encyclopédie, ou Dictionnaire raisonné des sciences, des arts et des métiers, par une Société de Gens de Lettres”（『百科全書』）【035/D1/1】  
本巻第 1 巻 タイトルページおよび口絵

**【問い合わせ先】**

大阪府立中央図書館 調査相談課  
社会・自然系資料室  
〒577-0011 東大阪市荒本北 1-2-1  
電話：06-6745-0170（代表）  
FAX：06-6745-0262

大正8年(1919年)2月9日、倉敷紡績株式会社社長大原孫三郎は、「社会の病弊を生みだす根源をさぐり、これを救治する方策を研究する」機関として、「大原社会問題研究所」を設立しました。

本年2月9日はこの大原社会問題研究所設立からちょうど100年の節目に当たります。

大原社会問題研究所は当初、大原がそれ以前に設立した愛染園内に置かれていましたが、その後、1920年に天王寺旧秋ノ坊の地に研究所本館が新築されました。同時期に欧州に派遣された所員により、ディドロ/ダランベールの『百科全書』やマルサス『人口論』など多くの書籍・資料が収集されましたが、それらの多くは昭和12年(1937年)の東京への移転の際大阪府へ譲渡され、その後設立された「大阪府社会事業会館(厚生会館)」の収集資料とともに、戦後「大原文庫」として大阪府立図書館天王寺分館→大阪府立夕陽丘図書館→大阪府立中央図書館の蔵書の中核として多くの方々に利用されてきました。

本展では、当館所蔵の資料と法政大学大原社会問題研究所提供の資料などから作成したパネルの展示を通して、この大原社会問題研究所と「大原文庫」の歩みを紹介します。併せて「大原文庫」の貴重書も特別に展示します。

## 大阪府立中央図書館へのアクセス



近鉄けいはんな線 (大阪メトロ中央線乗り入れ)「荒本駅」下車  
1番出口を出て、北西へ約400m 東大阪市役所北側

・詳細につきましては、次のHPをご覧ください。

大阪府立図書館 » 大阪府立中央図書館 アクセスマップ  
[http://www.library.pref.osaka.jp/site/central/new\\_map.html](http://www.library.pref.osaka.jp/site/central/new_map.html)